

平面計画の質的評価に関する研究(6)

- 階段・浴室・トイレへの経路のLDKスペースとの関わり方の調査 -

横田 哲* 青野 順**

Study on quality assessment of floor planning

Investigation of the relation with the LDK space of the course to stairs / a bathroom / the restroom

Yokota Satoshi, Aono Jun

1 研究の目的

住宅メーカーが、多様な顧客の要求に合う家を適切かつ効率よく提案供給するためには、平素より住宅の推奨の形を予測する研究を進める必要がある。その方法の一つとして、過去に供給した住宅についてそれらの平面計画を継続的に整理分析し、今後の住宅のあり方を予測するとともに、顧客からの要望質問に答える資料への応用を研究の目標とする。本研究の(その1)では20年間の間取り内容の変化について、(その2)では住宅内での回遊動線の効用とその存在の実態について、(その3)では、売却型展示場の内容が通常の契約内容にどの程度影響を及ぼすかについて、(その4、5)では、具体化された平面計画の内容の中で和室がどのような内容で間取りされ、かつ仕様設定されるかを報告した。

本稿(その6)では、階段・浴室・トイレへの経路にLDKがどの程度、どのように関わっているかを把握することにより、今後の平面計画において踏まえておくべき基本点を確認することを目的とする。確認項目は、階段・浴室・トイレそれぞれのLDK経路比率、階段・浴室・トイレのLDK経路の組合せパターンによって何に違いを生じているか、代表的プランのパターンの把握である。

2 調査サンプルの内容

表1に調査サンプルとした住宅の概要を示す。2階建が、8割弱で、延床面積の分布はかなり広範囲であるが、100~200㎡で8割弱を占める。612棟に間取りされた階段・浴室・トイレの総数は612より多い。ここでのトイレは、LDK階に設置されたトイレを指す。

3 プランのタイプの設定

廊下の有無と1階廊下と玄関ホールとのつながりの組合せで4種類のプランタイプを設定した。図1にその内容を示す。AとBの違いは廊下の有無である。A1~A3の違いは、廊下と玄関が一体か、分離しているか、両方あるかである。なおA3はサンプルが微小のため、今回の調査には含まれていない。

4 結果と考察

階段・浴室・トイレそれぞれのLDK経路比率は、浴室>階段>トイレという結果である。プランタイプ(A1, A2, B)に関わらず同じ結果である。しかしながらプランタイプによりLDK経路比率の違いはかなり大きい。廊下の有無、つながりが大きく影響している。(グラフ1参照)

表2にLDK経路の階段・浴室・トイレの組合せパターンを示す。パターンをスペース数で括り、全てLDK経路(3)からLDK経路なし(0)の4分類で、LDK経路の集中度とする。次に、全サンプルから、2階建 施主住居専用 LDK・浴室数が1ヶ所 LDK・浴室の設置階が1階の条件絞込みを行った。全サンプルの6割強で、以下は上記条件でのサンプルの結果考察である。

プランタイプ(A1, A2, B)とLDK経路の集中度の関係では、全体ではLDK経路比率はほぼ4等分されるが、プランタイプによって大きく異なり、A2>B>A1である。したがってLDK経路への集中も、廊下の有無、つながりに大きく影響されているといえる。ちなみに玄関と分離の廊下は、LDK経路とした。(グラフ2参照)

LDK設置階床面積(本稿では1階床面積)とLDK経路の集中度の関係では、51~110㎡の範囲で床面積が小さいほど、集中度が高い傾向が見られる。狭いから階段・浴室・トイレをLDK経路にしたという理由が存在することは否めない。しかしながら広い床面積(91㎡~)にもLDK経路プランが存在することから、他の積極的な設置理由も存在すると考えられる。(グラフ3参照)

回遊動線とLDK経路の集中度の関係では、全体での存在比率は高いが、LDK経路の集中度が高いほど回遊動線の存在率は低下する傾向が見られる。(グラフ4参照)

図2にLDK経路の代表的プランのパターンを示す。実際に抽出されたプランパターンは、28種類であったが、図示した9パターンで、全LDK経路プランパターンの8割弱を占める。LDK経路数は、トイレの除外(玄関・廊下、玄関へ配置)によって減少する。浴室は、LDK経路数が減少してもなかなか除外されない。

表1 集計サンプルの概要

サンプル所在地	全国4地区	
棟数	612棟	
階数の分布	1階建	5%
	2階建	78%
	3階建	16%
	4・5階建	1%
延床面積の範囲	39 ~ 360(m ²)	
階段設置数	696	
浴室設置数	675	
LDK階トイレ設置数	687	

表2 LDK経由スペースの組合せパターン : LDK経由

階段	浴室	トイレ	LDK経由スペース数
			3
			2
			2
			2
			1
			1
			1
			0

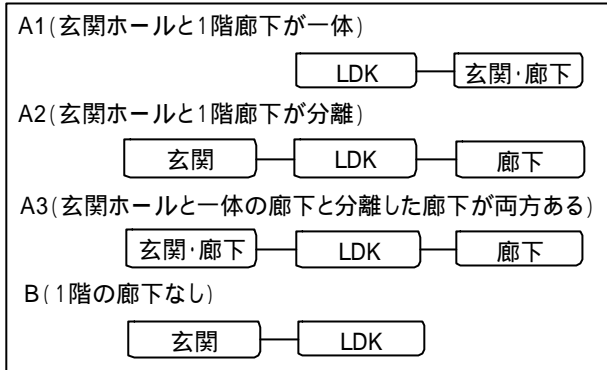


図1 プランのタイプ

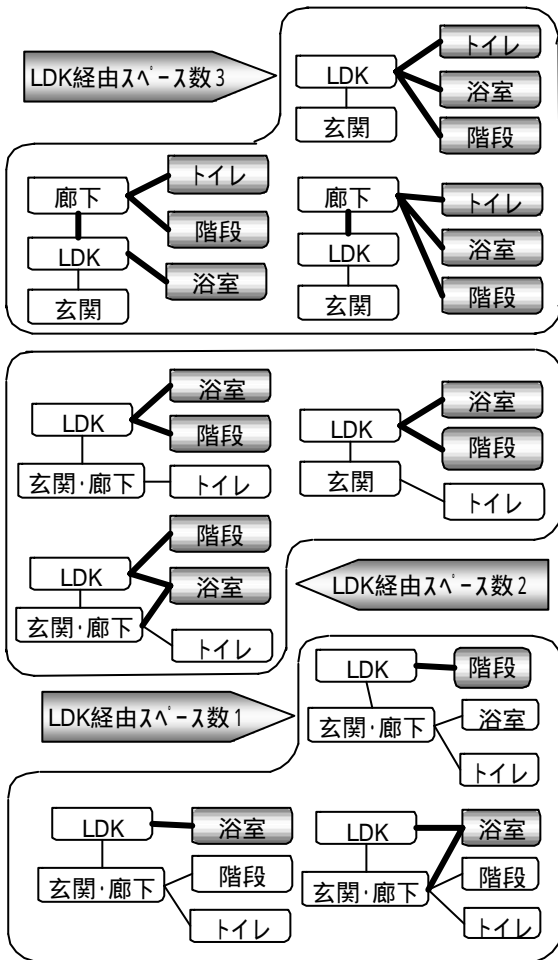
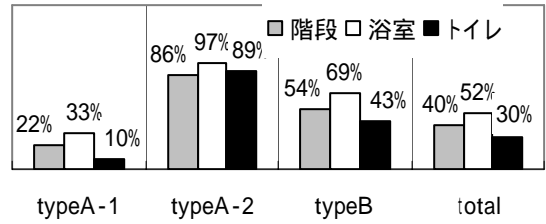
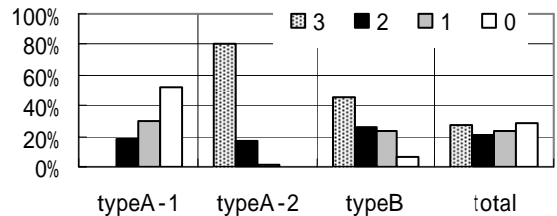


図2 LDK経由の代表的プランのパターン

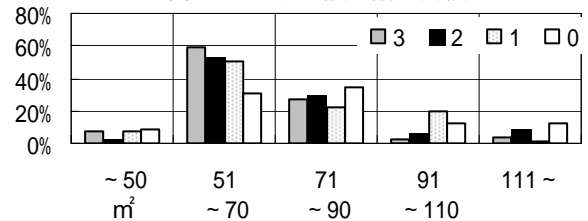
グラフ1 階段・浴室・トイレのLDK経由比率



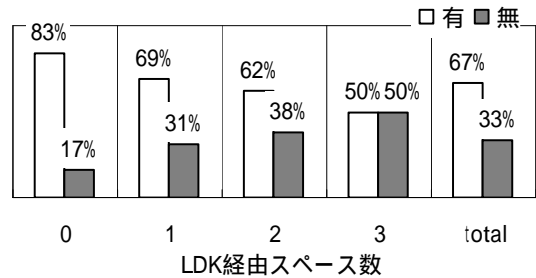
グラフ2 LDK経由スペース数とプランのタイプ



グラフ3 LDK経由スペース数と設置階の面積



グラフ4 LDK経由スペース数と回遊動線の有無



5 まとめ

階段・浴室・トイレのLDK経路の状況について調査し、以下の傾向を確認した。3スペースそれぞれのLDKからの経路の比率は、廊下の有無とつながりによって異なる。

LDKからのトイレへの経路比率は一番低く、3割であった。LDK経路が集中すると設置階の床面積は、小さくなる傾向がある。回遊動線は、LDK経路が集中するほど少なくなる。プラン決定時、LDK経路の優先度は、トイレが一番低い。

(注)廊下の有無と玄関とのつながりによる分類、階段・浴室・トイレのLDK経路集中度による分類は、当該テーマの集計・分析のベースとして有効であると確認した。

* SI(エスアイ)住宅研究室 ** パナホーム(株)設計部